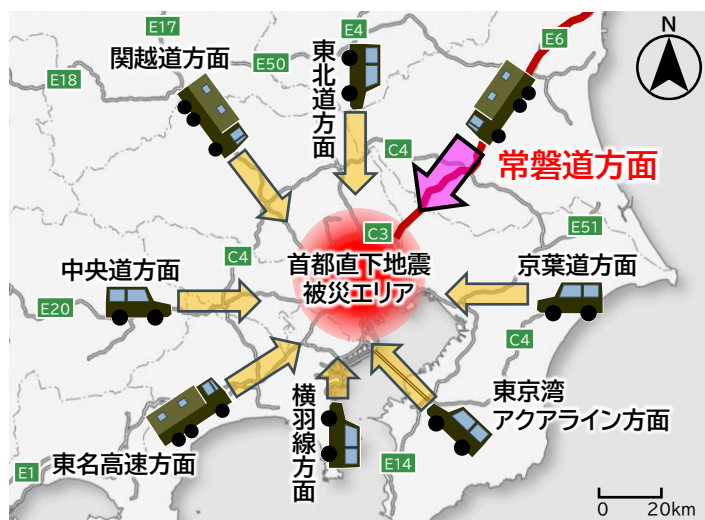


更に安全・安心・快適・便利に②(防災拠点)

- 常磐自動車道全線開通により、福島県・宮城県沿岸部と首都圏を最短で結ぶ高規格ネットワークを形成。「**八方向作戦**」の優先ルートとして選定されるなど**防災上の貢献が期待される**。
- 守谷サービスエリアは、広域災害の発生時に自衛隊や消防、医療機関など**緊急出動機関の前線基地**を担う。

首都直下地震への備え(八方向作戦)



●守谷SA防災拠点運営室内訓練

守谷SA(上)の商業施設を使用し、**防災拠点運営訓練(防災拠点の設営、情報伝達訓練等)**を実施。

参加機関:17機関(陸上自衛隊、消防庁など)
参加人数:約100名



カフェテリアを共同災害対策室として活用

●令和6年度自衛隊統合防災演習

守谷SAで日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震発生を想定した、**自衛隊の活動並びに、防災関係機関との連携活動の演練**の一部を実施。

参加機関:陸上自衛隊、海上自衛隊など
参加人数:約12,000名



NEXCO光回線を用いた通信訓練

共同通信訓練の様子

【資料】NEXCO東日本資料

「八方向作戦」とは・・・

首都直下地震発生時に都心に向けた八方向から一斉に道路啓開を進行させる作戦。NEXCO東日本では首都直下地震に備えて、常磐自動車道・守谷SAをはじめ、東関東道・酒々井PA、東北道・蓮田SA、関越道・高坂SAを防災拠点化している。

首都直下地震に備えた守谷SA(上)の主な防災機能



守谷SAは緊急出動機関の前線基地として、災害発生時に物資や人材が集結し、必要な場所へ輸送しています。首都圏における広域的な支援場所となることが期待されます。

沿線自治体の声
ヒアリング結果(2024年10月)

守谷SAは自衛隊が使用可能な光回線を常設しているため、有事の際は重要な通信中継点等としての機能が期待されます。

自衛隊の声
ヒアリング結果
(2024年9月)